

<p>学校経営方針</p>	<p style="text-align: center;">「行きたい」「行かせたい」「来てよかった」 と思える魅力ある学校づくり ～「夢」「希望」そして「挑戦」～</p> <p style="text-align: right;">本校では、将来の目標を見据えて、常に高い志をもって行動できる生徒の育成に重点を置いて、いる。そのために、生徒各自の「夢」「希望」そして「挑戦」をキーワードとして、生徒自らが主体的に取り組む態度を育成する。その取組を通して、中学生にとって「行きたい」、保護者にとって「行かせたい」、在校生や卒業生にとって「来てよかった」と思える魅力ある学校づくりに努める。</p>				<p>総合評価</p>	
<p>前年度の成果と課題</p>	<p>これまで、生徒の実態に合わせながら、充実した施設設備を最大限に活用し、創造的で独創的な多くの取組を積極的に実践することによって、①『学校の魅力づくり』と②『入学希望生徒の確保』を学校経営の主眼点とし、学校の活性化に取り組んできたが、地元五條市域等の少子化の進行で今後の不安定要素がさらに大きくなっている。</p> <p>導入から10年を経過したスクールバスの運行をはじめ、スクールカウンセラー・教育相談スーパーバイザーの単独配置による教育相談体制の構築、学校運営協議会の設置によるコミュニティ・スクールの取組、グラウンド人工芝生化による施設・設備の充実等、10年後を視野に入れた新しい学校改革にむけて、積極的な取組を進めてきたが、今後とも、現状の課題を整理しながら、生徒・保護者の期待に応えるべく、学力の向上を図るなど更なる改善・充実を図る必要がある。</p>					
<p>本年度の重点目標</p> <p style="text-align: center;">具体的目標 ○主な具体的方策（担当）</p>		<p>評価の指標等</p>	<p>自己評価</p>	<p>成果と課題</p>	<p>改善方策等</p>	<p>学校関係者評価</p>
<p>1 魅力ある進路実現 進学指導をはじめ、魅力ある進路実現への対応</p>						
<p>①わかる授業の実現（授業力の向上） ○ 学習活動の工夫を図る。（教務部）</p> <p>②「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善 ○ 授業と評価の改善、指導力向上を推進する。（教務部） ○ 読書活動の活性化を図る。（文化図書部）</p> <p>③進路保障にかかわる取組の充実 ○ 計画的・系統的な進路指導を行う。（進路指導部） ○ 望ましい勤労観、職業観を身に付けさせる。（進路指導部） ○ 生徒一人一人の進路の実現に向けて、明確な目的意識を持って学習に取り組ませる。（進路指導部）</p>	<p>・生徒アンケート「五條高校では授業の方法が自分に適していて、内容がよく理解できそうである」 30年度<目標:70%以上></p> <p>・保護者アンケート「五條高校で行われている授業の内容や進め方に満足している」 30年度<目標:80%以上></p> <p>・授業アンケートにおいて、1学期末の評価より2学期末の評価が向上した教員の割合を増やす。 30年度<目標:70%以上></p> <p>・教員アンケート「五條高校では、研究授業など、授業改善に向けた取組が活発に行われている」 30年度<目標:75%以上></p> <p>・生徒アンケート(第3学年)「自分の希望する進路実現ができた」 30年度<目標:90%以上></p> <p>・生徒アンケート(全学年)「五條高校では、生徒一人一人の進路に応じて、丁寧な指導が行われている」 30年度<目標:85.0%></p>					
<p>2 充実した学校生活 学校行事の充実と部活動の活性化</p>						
<p>①学校行事の精選と内容の充実 ○ 体育活動を積極的に取り組む姿勢を養う。（保健体育部） ○ 文化行事の充実を図る。（文化図書部）</p> <p>○ 異文化理解を推進する。</p> <p>②部活動加入率の向上 ○ 生徒会活動や部活動を積極的に奨励し、生徒の主体的活動を促進する。（生徒指導部）</p>	<p>・各体育行事の目標参加率 30年度<目標:95%以上></p> <p>・文化祭2日間の欠席者数 30年度<目標:10人以内></p> <p>・本校よりの短期研修において、安定した参加人数の確保を図る。 30年度<目標> 12名</p> <p>・生徒アンケート「五條高校の生徒会活動は活発で、関心が持てる内容である」 30年度<目標:80%></p> <p>・部活動加入率 30年度<目標:80%></p>					
<p>3 安心して通える(通わせる)ことができる学校づくり きめ細やかな生徒への対応と生徒指導の充実</p>						
<p>①日頃から生徒及び保護者との関わりを大切にする ○ 生徒の人権意識を高める。（人権教育部）</p> <p>②共通理解、同一步調、全校体制で指導にあたる ○ 教育相談体制を確立する。（生徒指導部）</p> <p>○ 職員の人権意識の資質向上を図る。（人権教育部）</p>	<p>・毎月の「人権を確かめあう日」に生徒・保護者向けの啓発文書を年10回発行する。</p> <p>・生徒アンケート「五條高校の先生は親身になって接してくれ、気軽に相談できる」 30年度<目標:80%></p> <p>・年1～2回外部から招聘した講師による研修会を開く。</p>					

4 外部との連携・情報発信の強化						
①地域と共にある学校づくりの推進 ○ 地域との連携を深める。(広報企画部)	・近隣小中学校への案内を充実させ、より多くの参加者を集める。 <u>30年度<目標:120名></u>					
②人工芝グラウンド活用による諸活動の活性化 ○ 小・中学校、地域への開放をすすめ、人工芝グラウンド活用するイベントを開催する。						
③HP等による効果的な広報活動の推進 ○ 学校ホームページや掲示板等を充実させる。(広報企画部) ○ 中学生やその保護者を対象に五條高校の魅力を情報発信する。(広報企画部)	・年間更新回数を増やし、情報をタイムリーに発信する。 <u>30年度<目標:120回></u> ・オープンキャンパスで、これまで以上に中学校や保護者へ情報発信し、より多くの参加者を集める。 <u>30年度<目標:360名></u>					
5 学校改善のための組織的取組						
①コミュニティ・スクール(学校運営協議会)の取組による学校改革と諸活動の最適化	・地域と学校の連携・協働の推進 地域の事業所でのインターンシップ体験による適切な進路選択 地域の方と共に行う教育活動					
②個々の生徒の強みを生かした進路実現における方策の開発 ○ 進路指導に関する情報収集と情報提供を行い、教員の指導力を高める。(進路指導部)	・研修会については、全体・学年ごとに合わせて総数5回。 ・進路の情報提供に関する配布物、回覧については、総数10回					

各分掌等の評価計画

分掌等	具体的目標	具体的方策	評価の指標等	自己評価	成果と課題	改善方策等	学校関係者評価
総務部	1-③/2-① ○ 異文化理解を推進する。	・オーストラリア・ガートン校との海外短期研修を円滑に行う。	・本校よりの短期研修において、安定した参加人数の確保を図る。 <u>30年度<目標>12名</u> ・ガートン校よりの短期研修生のホームステイ受け入れ家庭を確保する。				
	4 ○ 育友会・同窓会との連携を強化する。	・育友会・同窓会との連携を密にし、学校運営に対する協力・援助を求める。 ・育友会の諸行事の活性化を図る。	・育友会・同窓会の定例会に参加し、機会に応じて学校との交流を図る。 ・保護者アンケート「五條高校では、育友会活動が熱心に行われている」 <u>30年度<目標>70%以上</u>				
	1-③ ○ 奨学金受け付け事務を円滑に実施する。	・生徒に各種奨学金の案内を行い、受け付け事務を円滑に進める。	・3年進学希望生徒に対して、日本学生支援機構奨学金及び各種奨学金の説明会を年3回実施する。				
教務部	1-① ○ 学習活動の工夫を図る。	・生徒の基礎学力の向上を図る。 ・生徒の実態に応じた授業展開、教材開発を行う。	・生徒アンケート「五條高校で行われている授業や課題、小テスト等に取り組むことで、うまく学習を進めることができている」 <u>30年度<目標:75%以上></u>				
			・生徒アンケート「五條高校では授業の方法が自分に適していて、内容がよく理解できそうである」 <u>30年度<目標:70%以上></u>				
			・保護者アンケート「五條高校で行われている授業の内容や進め方に満足している」 <u>30年度<目標:80%以上></u>				
1-② ○ 授業と評価の改善、指導力向上を推進する。	・各教科の研究授業を1回以上行い、2教科で指導主事を招いて実施する。 ・指導主事を招いた研究授業では、研究協議に教科の教員が全員参加できるよう努める。 ・他教科の任意の授業を参観する期間を設け、参観希望授業の集約や調整、時間割変更を確実に進行。	・授業アンケートにおいて、1学期末の評価より2学期末の評価が向上した教員の割合を増やす。 <u>30年度<目標:70%以上></u> ・教員アンケート「五條高校では、研究授業など、授業改善に向けた取組が活発に行われている」 <u>30年度<目標:75%以上></u>					

生徒指導部	1-③ ○ 基本的な生活習慣を確立する。	・挨拶や言葉遣い、身だしなみ、時間を守ること等、基本的な生活習慣を確立させる。	・年間欠席総数 29年度 2,886回 → 30年度<目標:2,300回> ・年間遅刻総数 29年度 910回 → 30年度<目標:800回>				
	1-②/2-②/3-② ○ 生徒会活動や部活動を積極的に奨励し、生徒の主体的活動を促進する。	・生徒会執行部の活動の活性化を図り、魅力ある実践活動を目指す。 ・部活動加入に向けた取組を工夫し、部活動加入率を向上させる。 ・各部に所属する生徒一人一人の所属感、使命感、活動意欲の高揚を図るため集会を開催する。	・生徒アンケート「五條高校の生徒会活動は活発で、関心が持てる内容である」29年度 72.0% → 30年度<目標:80%> ・部活動加入率 29年度 75.9% → 30年度<目標:80%> ・部員集会やキャプテン会議を学期に1回以上開催する。				
	3-①、② ○ 教育相談体制を確立する。	・教育相談体制を整備して、支援を必要とする生徒（不登校傾向を示す生徒や特に困難な課題を持つ生徒等）やその保護者を対象に、外部機関と連携を図りながらカウンセリングを受ける機会を広げる。	・問題を抱える生徒の早期発見、早期対応、予防的な取組を行う。 ・当該生徒対象にケース会議を考査期間中に開き、対応を検討する。 ・生徒アンケート「五條高校の先生は親身になって接してくれ、気軽に相談できる」 29年度 72.0% → 30年度<目標:80%>				
進路指導部	1-③/4-③ ○ 計画的・系統的な進路指導を行う。 ○ 望ましい勤労観、職業観を身に付けさせる。	・集会や説明会等を行うことで、望ましい勤労観、職業観を含め、進路について広く深く考えさせる。	・集会、説明会等の実施総数 10回。 ・上記実施状況について、HPにて情報発信を行う。 総数 10回。				
	1-③/5-② ○ 生徒一人一人の進路の実現に向けて、明確な目的意識を持って学習に取り組ませる。	・進路決定に向けたホームルーム活動や相談活動を充実させる。	・生徒アンケート(第3学年)「自分の希望する進路実現ができた」 29年度(進路決定者の内)87.6% → 30年度<目標:90%以上> ・生徒アンケート(全学年)「五條高校では、生徒一人一人の進路に応じて、丁寧な指導が行われている」 29年度 82.2% → 30年度<目標:85.0%> ・各学年進路講習の企画立案 総数 5回。				
	1-③/5-② ○ 進路指導に関する情報収集と情報提供を行い、教員の指導力を高める。	・進路指導にかかわる職員研修の機会を適宜持つ。 ・進路指導に関する情報提供を行う。	・研修会については、全体・学年ごとに合わせて総数5回。 ・情報提供の配布物、回覧については、総数10回。				
人権教育部	3-② ○ 職員の人権意識の資質向上を図る。	・人権教育推進に関する職員研修会を実施する。 ・各学年に研修会等への参加を依頼する。	・年1～2回外部から招聘した講師による研修会を開く。 ・研究大会、学習会に積極的に参加する。				
	1-② ○ 人権教育・道徳教育の充実を図り、人間としての在り方生き方を大切にする生徒を育てる。	・公開HRに向けて、生徒の実態に合わせて、HR毎に指導内容を工夫する。 ・道徳教育の全体計画を作成し、道徳教育を推進する。	・公開HRに応じた人権教育年間計画を作成する。 ・生徒アンケート「五條高校では、授業やHRにおいて、人権問題について考える機会が多い」 29年度 92.0% → 30年度<目標:93%> ・道徳教育全体計画に基づき実施し、成果を検証する。				
	3-② ○ 生徒の人権意識を高める。	・「人権を確かめあう日」の啓発文書の文案作成を各分掌に依頼し、多様な視点から人権について考えさせる。	・毎月の「人権を確かめあう日」に生徒・保護者向けの啓発文書を年10回発行する。				
	1-②/4-① ○ 人権系の力量を高める。	・全学年のホームルームから人権係を2名ずつ選出、人権意識向上の活動を行う。 ・人権系の生徒対象に人権にかかわる講習会を開催する。	・「人権を確かめあう日」の啓発文書配布時に、係生徒が全校生徒向けにその趣旨を放送によりアピールする。 ・ボランティア活動に積極的に参加する。 ・手話講習会を実施し、クラスで人権教育の中心として活動できる力量を育てる。 ・人権映画会の司会を人権係が担当する。				

文化 図書部	2-① ○ 文化行事の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 文化行事の実施により、生徒の自主性や創造性を伸ばし、生徒自らが文化的な活動に取り組む意欲を醸成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭2日間の欠席者数を生徒総数の1%未満にする。 29年度 延べ24人 → 30年度 <目標:10人以内> カルタ大会・おはなし会を実施する。 				
	1-②/4-① ○ 図書館利用の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 図書館報・図書館だよりを発行し、図書館利用を促進する。 五條市立図書館との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館利用者の増加を図る。 29年度 延べ9,849人 → 30年度 <目標:10,000人> 貸出冊数の増加を図る。 29年度 1,561冊 → 30年度 <目標:1,600冊> 五條市立図書館との合同企画を実施する。 				
	1-② ○ 読書活動の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の読書の機会を増やし、自ら読書に取り組み、自らの生活を豊かなものにしようとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読書の時間」を(月)と(木)のSHRに7分設定し、考査後1週間は、すべての日で実施。読書の習慣を身に付けさせる取り組みを進める。 				
保健 体育部	2-① ○ 体育活動を積極的に取り組む姿勢を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 体育活動を通して生徒の心身の健全な発育と体力の向上、(脚力、忍耐力を鍛える)を図るとともに生徒を主体とした体育活動を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 球技大会、体育大会、耐寒登山を実施する。 各行事の目標参加率を95%以上とする。 				
	○ 体力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 体育活動を通じて人と連なるコミュニケーション能力を培う。 体育の授業だけでなく自らの生活の中で体力向上をめざす運動習慣を確立させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 体力測定、スポーツテストの結果を踏まえ全学年とも前年度を上回ること。(8項目中5項目以上数値アップを目指す) 				
環境 美化部	○ 校内美化を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 日々の清掃活動により校内美化を推進する。 大掃除を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケート「五條高校では、清掃が行き届いており、校内がきれいに整備されている。」 29年度 53.0% → 30年度 <目標:55.0%> 				
	○ 美化委員会活動を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> 当番制で花の水やり活動を進める。 通学路美化活動を実施する。 花の植え替えをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 花の水やり活動を毎日実施する。 通学路美化活動を学期に1回実施する。 花の植え替えを年2回する。 				
	○ 防災教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練等を実施することにより、防災意識を高め、災害から身を守る取組を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 火災や地震等を想定した避難訓練を5月に実施する。 職員研修を行う。 				
広報 企画部	4-③ ○ 学校ホームページや掲示板等を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> 学校ホームページの充実を図り、保護者等にリアルタイムで学校の状況を伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> 年間更新回数を増やし、情報をタイムリーに発信する。 29年度 100回 → 30年度 <目標:120回> 				
	4-③ ○ 中学生やその保護者を対象に五條高校の魅力を情報発信する。	<ul style="list-style-type: none"> 学校紹介パンフレット等の作成と発送を行う。 オープンキャンパスを開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> 『学校紹介』(4,000部)を改訂し、より魅力的なものとする。 これまで以上に中学校や保護者へ情報発信し、より多くの参加者を集める。 29年度 340名 → 30年度 <目標:360名> 				
	4-① ○ 地域との連携を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 「五高スポーツ教室」「五高カルチャー講座」「コットンプロジェクト」等を実施する。 地域の行事に参加・貢献する。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣小中学校への案内を充実させ、より多くの参加者を集める。 29年度 100名 → 30年度 <目標:120名> 校内で生徒のボランティアを募り、より多くの生徒を参加させる。 				
第1学年	○ 規範意識と基本的な生活習慣を確立させる。	<ul style="list-style-type: none"> 中学校との違いを認識し五條高校の生徒としての自覚を持たせ、遅刻や欠席をせず授業に集中して取り組 	<ul style="list-style-type: none"> 遅刻の各クラス別年間総数の平均が15回未満、欠席が100回未満とする。 				

		む姿勢を養う。					
	○ 部活動（課外活動）に参加させる。 ○ 基礎学力を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習と部活動の両立を目指し、学校生活を意欲的に過ごす姿勢を育てる。 ・授業を最大限に活用し、予習・復習を毎日の習慣とさせて、家庭学習の習慣を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の加入率が80%以上とする。 ・平日に家庭学習を毎日する生徒の割合が70%以上。 				
	○ 進路目標を明確化させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自らの興味・関心に基づき、適性を探り、進路についての考えを深め、確固たる進路目標を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・LHR等の時間を利用し、第1学年の間に進路目標が定まった者が、80%以上とする。 				
第2学年	○ 規範意識と基本的な生活習慣を確立させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・中堅学年としての自覚を持たせ、遅刻や欠席をしないで授業に集中して取り組む姿勢を養う。 ・挨拶、言葉遣い等の礼儀作法を徹底させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻の各クラス別年間総数の平均が25回未満、欠席が85回未満とする。 				
	○ 自主学習の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の提出、小テストの合格に向けての準備を徹底させ、自主学習を習慣付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日に家庭学習をほぼ毎日する生徒の割合が70%以上。 				
	○ 具体的な進路目標を設定させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる場面を通じて、主体的に自己の進路について考えさせ、より具体的な進路目標を設定させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2学年の間に、自分の志望校、志望職種が決定できた生徒の割合が80%以上。 				
第3学年	○ 規範意識と基本的な生活習慣を確立させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要な挨拶、言葉遣い等の礼儀作法、判断力、規範意識を身に付けさせる。また、残り少ない高校生活を無駄にせず、充実した毎日を過ごさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最高学年としての自覚と責任を持ち、時と場に応じた言動ができる。 ・クラス別年間遅刻総数の平均が25回未満、欠席総数の平均が100回未満とする。 				
	○ 自主学習の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業後の進路を見据えて、授業、進学講習等に能動的に取り組ませるとともに、家庭においても自主的な学習を定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平日に家庭学習をほぼ毎日する生徒の割合が85%以上。 				
	○ 進路目標を決定させ、その実現に向けて取り組ませる。	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な進路目標を主体的に決定し、その実現に向けて効果的、能動的に取り組ませる。 ・一人一人の進路に応じて丁寧な指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就職、進学の決定率が95%以上。 ・「一人一人の進路に応じて、丁寧な指導が行われている」生徒アンケート・保護者アンケート第3学年が85%以上。 				